

# メシア（油注がれた方、救い主）の預言（その2 使命・役割）

## 1. 人間

- 📖 「お前と女、お前の子孫と女の子孫の間に／わたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕き／お前は彼のかかとを砕く。」創 3:15
- 📖 「それゆえ、わたしの主が御自ら／あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み／その名をインマヌエルと呼ぶ。」イザ 7:14
- 📖 エフラタのベツレヘムよ／お前はユダの氏族の中でいと小さき者。お前の中から、わたしのために／イスラエルを治める者が出る。彼の出生は古く、永遠の昔にさかのぼる。ミカ 5:1

## 2. 神（の子）

- 📖 「主の定められたところに従ってわたしは述べよう。主はわたしに告げられた。「お前はわたしの子／今日、わたしはお前を生んだ。」詩 2:7
- 📖 「天にのぼったり、下ったりしたのはだれか、風をこぶしの中に集めたのはだれか、水を着物に包んだのはだれか、地のすべての限界を定めた者はだれか、その名は何か、その子の名は何か、あなたは確かにそれを知っている。」箴 30:4
- 📖 「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神／永遠の父、平和の君」と唱えられる。」イザ 9:5
- 📖 「それゆえ、わたしの主が御自ら／あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み／その名をインマヌエル（「わたしたちと共におられる神」という意味）と呼ぶ。」イザ 7:14
- 📖 「見よ、このような日が来る、と主は言われる。わたしはダビデのために正しい若枝を起こす。王は治め、栄え／この国に正義と恵みの業を行う。彼の代にユダは救われ／イスラエルは安らかに住む。彼の名は、「主は我らの救い」と呼ばれる。」エレ 23:5-6
- 📖 「わが主に賜った主の御言葉。「わたしの右の座に就くがよい。わたしはあなたの敵をあなたの足台としよう。」主はあなたの力ある杖をシオンから伸ばされる。敵のただ中で支配せよ。あなたの民は進んであなたを迎える／聖なる方の輝きを帯びてあなたの力が現れ／曙の胎から若さの露があなたに降るとき。」詩 110:1-3
- 📖 「見よ、「人の子」のような者が天の雲に乗り／「日の老いたる者」の前に来て、そのもとに進み権威、威光、王権を受けた。諸国、諸族、諸言語の民は皆、彼に仕え／彼の支配はとこしえに続き／その統治は滅びることがない。」ダニ 7:9-14

## 3. 先生・預言者・宣教師

- 📖 「終わりの日に／主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち／どの峰よりも高くそびえる。国々はこぞって大河のようにそこに向かい多くの民が来て言う。「主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。主はわたしたちに道を示される。わたしたちはその道を歩もう」と。主の教えはシオンから／御言葉はエルサレムから出る。」イザ 2:2-3
- 📖 「あなたの神、主はあなたの中から、あなたの同胞の中から、わたしのような預言者を立てられる。あなたたちは彼に聞き従わねばならない。このことはすべて、あなたがホレブで、集会の日に、「二度とわたしの神、主の声を聞き、この大いなる火を見て、死ぬことのないようにしてください」とあなたの神、主に求めたことによっている。主はそのときわたしに言われた。「彼らの言うことはもっともである。わたしは彼らのために、同胞の中からあなたのような預言者を立ててその口にわたしの言葉を授ける。彼はわたしが命じることをすべて彼らに告げるであろう。」申 18:15-18
- 📖 「見よ、わたしの僕、わたしが支える者を。わたしが選び、喜び迎える者を。彼の上にわたしの霊は置かれ／彼は国々の裁きを導き出す。彼は叫ばず、呼ばわらず、声を巷に響かせない。傷ついた葦を折ることなく／暗くなってゆく灯心を消すことなく／裁きを導き出して、確かなものとする。暗くなることも、傷つき果てることもない／この地に裁きを置くときまでは。鳥々は彼の教えを待ち望む。主である神はこう言われる。神は天を創造して、これを広げ／地とそこに生ずるものを繰り広げ／その上に住む人々に息を与え／そこを歩く者に霊を与えられる。主であるわたしは、恵みをもってあなたを呼び／あなたの手を取った。民の契約、諸国の光として／あなたを形づくり、あなたを立てた。」イザ 42:1-6

#### 4. 救い主

- 📖 「その日には、あなたは言うであろう。「主よ、わたしはあなたに感謝します。あなたはわたしに向かって怒りを燃やされたが／その怒りを翻し、わたしを慰められたからです。見よ、わたしを救われる神。わたしは信頼して、恐れぬ。主こそわたしの力、わたしの歌／わたしの救いとなってくださった。」あなたたちは喜びのうちに／救いの泉から水を汲む。」イザ 12:1-3
- 📖 「心おののく人々に言え。「雄々しくあれ、恐れるな。見よ、あなたたちの神を。敵を打ち、悪に報いる神が来られる。神は来て、あなたたちを救われる。」イザ 35:4
- 📖 「すべての王が彼の前にひれ伏し／すべての国が彼に仕えますように。王が助けを求めて叫ぶ乏しい人を／助けるものもない貧しい人を救いますように。弱い人、乏しい人を憐れみ／乏しい人の命を救い不法に虐げる者から彼らの命を贖いますように。王の目に彼らの血が貴いものとされますように。」詩 72:11-14
- 📖 「娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、歡呼の声をあげよ。見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、勝利を与えられた者／高ぶることなく、ろばに乗って来る／雌ろばの子であるろばに乗って。」ゼカ 9:9
- 📖 「このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエス（「神が救い」という意味）と名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」マタ 1:20-21
- 📖 「預言者イザヤの巻物が渡され、お開きになると、次のように書いてある個所が目に留まった。「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、／主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、／捕らわれている人に解放を、／目の見えない人に視力の回復を告げ、／圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。」イエスは巻物を巻き、係の者に返して席に座られた。会堂にいるすべての人の目がイエスに注がれていた。そこでイエスは、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた。」ルカ 4:17-21

#### 5. 苦しむ僕

- 📖 「・・・わたしは虫けら、とても人とはいえない。人間の屑、民の恥。わたしを見る人は皆、わたしを嘲笑い／唇を突き出し、頭を振る。「主に頼んで救ってもらおうがよい。主が愛しておられるなら／助けてくださるだろう。・・・犬どもがわたしを取り囲み／さいなむ者が群がってわたしを囲み／獅子のようにわたしの手足を砕く。骨が数えられる程になったわたしのからだを／彼らはさらしものにして眺めわたしの着物を分け／衣を取ろうとしてくじを引く。主よ、あなただけは／わたしを遠く離れないでください。わたしの力の神よ／今すぐにわたしを助けてください。」詩 22:1-21
- 📖 「打とうとする者には背中をまかせ／ひげを抜こうとする者には頬をまかせた。顔を隠さずに、嘲りと唾を受けた。主なる神が助けてくださるから／わたしはそれを嘲りとは思わない。わたしは顔を硬い石のようにする。わたしは知っている／わたしが辱められることはない、と。」イザ 50:6-7
- 📖 「かつて多くの人をおののかせたあなたの姿のように／彼の姿は損なわれ、人とは見えぬ／もはや人の子の面影はない。」イザ 52:14
- 📖 「彼は軽蔑され、人々に見捨てられ／多くの痛みを負い、病を知っている。彼はわたしたちに顔を隠し／わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。」イザ 53:3
- 📖 「わたしはダビデの家とエルサレムの住民に、憐れみと祈りの霊を注ぐ。彼らは、彼ら自らが刺し貫いた者であるわたしを見つめ、独り子を失ったように嘆き、初子の死を悲しむように悲しむ。」ゼカ 12:10
- 📖 「剣よ、起きよ、わたしの羊飼いに立ち向かえ／わたしの同僚であった男に立ち向かえと／万軍の主は言われる。羊飼いを撃て、羊の群れは散らされるがよい。わたしは、また手を返して小さいものを撃つ。」ゼカ 13:7

#### 6. 復活させられる方

- 📖 「わたしは兄弟たちに御名を語り伝え／集会の中であなたを賛美します。」詩 22:23
- 📖 「彼は自らの苦しみの実りを見／それを知って満足する。わたしの僕は、多くの人が正しい者とされるために／彼らの罪を自ら負った。」イザ 53:11

📖 「わたしの心は喜び、魂は躍ります。からだは安心して憩います。あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく／あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず命の道を教えてください。わたしは御顔を仰いで満ち足り、喜び祝い／右の御手から永遠の喜びをいただきます。」詩 16:9

📖 「わたしは立ち去り、自分の場所に帰っていよう。彼らが罪を認めて、わたしを尋ね求め／苦しみの中で、わたしを捜し求めるまで。「さあ、我々は主のもとに帰ろう。主は我々を引き裂かれたが、いやし／我々を打たれたが、傷を包んでくださる。二日の後、主は我々を生かし／三日目に、立ち上がらせてくださる。我々は御前に生きる。我々は主を知ろう。主を知ることの追求めよう。主は曙の光のように必ず現れ／降り注ぐ雨のように／大地を潤す春雨のように／我々を訪れてくださる。」ホセ 5:15-6:3

📖 「家を建てる者の退けた石が／隅の親石となった。」詩 118:22

## 7. 祭司

📖 「主は誓い、思い返されることはない。「わたしの言葉に従って／あなたはとこしえの祭司／メルキゼデク（わたしの正しい王）。」詩 110:4

📖 「あなたたちのうち誰か、わが祭壇に／いたずらに火が点じられることがないよう／戸を閉じる者はいないのか。わたしはあなたたちを喜ぶことはできないと／万軍の主は言われる。わたしは献げ物をあなたたちの手から／受け入れはしない。日の出る所から日の入る所まで、諸国の間でわが名はあがめられ、至るところでわが名のために香がたかれ、清い献げ物がささげられている。わが名は諸国の間であがめられているからだ、と万軍の主は言われる。」マラ 1:10-11

## 8. 牧者（羊飼）

📖 「彼は立って、群れを養う／主の力、神である主の御名の威厳をもって。彼らは安らかに住まう。今や、彼は大きいなる者となり／その力が地の果てに及ぶからだ。」ミカ 5:3

📖 「まことに、主なる神はこう言われる。見よ、わたしは自ら自分の群れを探し出し、彼らの世話をする。牧者が、自分の羊がちりぢりになっているときに、その群れを探すように、わたしは自分の羊を探す。わたしは雲と密雲の日に散らされた群れを、すべての場所から救い出す。わたしは彼らを諸国の民の中から連れ出し、諸国から集めて彼らの土地に導く。わたしはイスラエルの山々、谷間、また居住地で彼らを養う。わたしは良い牧草地で彼らを養う。イスラエルの高い山々は彼らの牧場となる。彼らはイスラエルの山々で憩い、良い牧場と肥沃な牧草地で養われる。わたしがわたしの群れを養い、憩わせる、と主なる神は言われる。わたしは失われたものを尋ね求め、追われたものを連れ戻し、傷ついたものを包み、弱ったものを強くする。しかし、肥えたものと強いものを滅ぼす。わたしは公平をもって彼らを養う。」エゼ 34:11-16

📖 「わたしは彼らのために一人の牧者を起こし、彼らを牧させる。それは、わが僕ダビデである。彼は彼らを養い、その牧者となる。また、主であるわたしが彼らの神となり、わが僕ダビデが彼らの真ん中で君主となる。主であるわたしがこれを語る。わたしは彼らと平和の契約を結ぶ。悪い獣をこの土地から断ち、彼らが荒れ野においても安んじて住み、森の中でも眠れるようにする。」エゼ 34:23-25

## 9. 王（諸国の支配者）

📖 「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神／永遠の父、平和の君」と唱えられる。ダビデの王座とその王国に権威は増し／平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって／今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。」イザ 9:5-6

📖 「見よ、このような日が来る、と主は言われる。わたしはダビデのために正しい若枝を起こす。王は治め、栄え／この国に正義と恵みの業を行う。」エレ 23:5

📖 「エフラタのベツレヘムよ／お前はユダの氏族の中でいと小さき者。お前の中から、わたしのために／イスラエルを治める者が出る。彼の出生は古く、永遠の昔にさかのぼる。」ミカ 5:1

📖 「わたしには彼が見える。しかし、今はいない。彼を仰いでいる。しかし、間近にはない。ひとつの星がヤコブから進み出る。ひとつの笏がイスラエルから立ち上がり／モアブのこめかみを打ち砕き／シエトのすべての子らの頭の頂を砕く。」民 24:17

📖 「王笏はユダから離れず／統治の杖は足の間から離れない。ついにシロが来て、諸国の民は彼に従う。」創 49:10

## 10. (正当な裁きを行い・神の義(約束)を実現する) 審判者

- 「彼は主を恐れ敬う霊に満たされる。目に見えるところによって裁きを行わず／耳にするところによって弁護することはない。弱い人のために正当な裁きを行い／この地の貧しい人を公平に弁護する。その口の鞭をもって地を打ち／唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。正義をその腰の帯とし／真実をその身に帯びる。」イザ 11:3-5
- 「神よ、あなたによる裁きを、王に／あなたによる恵みの御業を、王の子に／お授けください。王が正しくあなたの民の訴えを取り上げ／あなたの貧しい人々を裁きますように。山々が民に平和をもたらし／丘が恵みをもたらしますように。」詩 72:1-3

## 11. 平和の君

- 「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神／永遠の父、平和の君」と唱えられる。」イザ 9:5
- 「終わりの日に／主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち／どの峰よりも高くそびえる。国々はこぞって大河のようにそこに向かい多くの民が来て言う。「主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。主はわたしたちに道を示される。わたしたちはその道を歩もう」と。主の教えはシオンから／御言葉はエルサレムから出る。主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし／槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず／もはや戦うことを学ばない。ヤコブの家よ、主の光の中を歩もう。」イザ 2:2-3-5
- 「正義が造り出すものは平和であり／正義が生み出すものは／とこしえに安らかな信頼である。わが民は平和の住みか、安らかな宿／憂いなき休息の場所に住まう。」イザ 32:17-18
- 「ダビデの王座とその王国に権威は増し／平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって／今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。」イザ 9:6
- 「すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。「いと高きところには栄光、神にあれ、／地には平和、御心に適う人にあれ。」ルカ 2:13-14

\*

- 「あなたたちは聖書の中に永遠の命があると考えて、聖書を研究している。ところが、聖書はわたしについて証しをするものだ。」ヨハ 5:39
- 「イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。」ヨハ 19:30
- 「そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。」ルカ 24,24-27
- 「フィリポが走り寄ると、預言者イザヤの書を朗読しているのが聞こえたので、「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。宦官は、「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりますよう」と言い、馬車に乗ってそばに座るようにフィリポに頼んだ。彼が朗読していた聖書の箇所はこれである。「彼は、羊のように屠り場に引かれて行った。毛を刈る者の前で黙している小羊のように、／口を開かない。卑しめられて、その裁きも行われなかった。だれが、その子孫について語れるだろう。彼の命は地上から取り去られるからだ。」宦官はフィリポに言った。「どうぞ教えてください。預言者は、だれについてこう言っているのでしょうか。自分についてですか。だれかほかの人についてですか。」そこで、フィリポは口を開き、聖書のこの箇所から説きおこして、イエスについて福音を告げ知らせた。」使 8:30-35
- 「事の起こる前に、今、言っておく。事が起こったとき、『わたしはある』ということ、あなたがたが信じるようになるためである。」ヨハ 13:19